

県高校駅伝界をリードする2人

九州学院高校 2年上村闘斗君、1年高木聖也君

1月27日、熊本の駅伝界No.1の九州学院高校2年生の上村闘斗君（東無田）と1年生の高木聖也君（小池秋永）が、出場した各大会の結果報告のため、住永町長を訪問しました。

上村君は、昨年11月に沖縄県で開催された全九州高等学校駅伝競走大会での優勝をはじめ、12月には、京都で開催された全国高等学校駅伝競走大会で3区を走り、24分0秒の日本人2位の記録を出し、九学を8位入賞に導きました。また、今年1月の広島県で開催された全国都道府県対抗男子駅伝競走大会では、5区を24分57秒の7位で走り、熊本県を19位に押し上げた立役者となりました。また、高木君は、全国、九州大会では補員としての出場でしたが、郡市対抗熊日駅伝では1年生らしからぬ走りで大活躍しました。



町長を訪問した上村君（左）と高木君（右）

鬼は外！福は内！！

町立第1保育所

2月3日、町立第1保育所（林 優子所長）で節分恒例の豆まきが行われました。

この日はまず、3歳から5歳児までの約60人の子どもたちが手作りの鬼の帽子をかぶり、広間に集まり、先生から節分のお話を聞きました。そして、自分たちの心の中に潜む「泣き虫鬼」や「意地悪鬼」、「好き嫌い鬼」などを追い出すためにお互いに豆をまき合いました。しばらくすると、どこからともなく大きな太鼓の音と共に金棒を持った赤鬼と青鬼が出現。そのリアルさに子どもたちはクモの子を散らしたように部屋中を逃げ回り、中には泣き出す子も。しかし、皆で「鬼は外」を大合唱し豆を投げ続けると鬼はたまらず降参し、逃げていきました。



泣きながら、でも皆で豆を投げ続けました。

その後、優しい福の神が現れると、子どもたちは元の笑顔に戻りました。

友だちと仲良くします

益城幼稚園と第二幼稚園で人権教室

「おもいやりの心をはぐくむ人権教室」が2月13日、益城幼稚園と益城第二幼稚園で開かれました。

益城幼稚園（濱田あつみ園長、121人）では、主催者を代表して人権擁護委員御船協議会会長の上妻毅さんが「みんなお友だちをたいせつにし、仲良く遊んでください」とあいさつ、園児たちも大きな声で「ハイ、わかりました」と元気に答えていました。

人権の大切さをテーマにした「勇気あるホタルと飛べないホタル」のビデオを観賞した後、「人権まもる君」のマスコット・キャラクターが登場すると、子どもたちは拍手で大歓迎。ひとりずつ、まもる君と握手をしながらマスコットのキーホルダーをもらって大喜びでした。



キャラクターのまもる君と握手する園児たち

生活環境改善に備品贈呈

（財）空港環境整備協会

2月2日、（財）空港環境整備協会から空港周辺環境対策事業として、町の施設や共同利用施設に対し、プラズマテレビやエアコン、冷蔵庫、パソコン等の備品が贈呈されました。これは、空港周辺住民の生活環境の改善を図り、空港運営と航空交通の健全な発展を目的として実施されているものです。

式では、同協会の上妻健一熊本事務所長から各施設の代表者に目録が手渡され、住永町長が「各施設の要望に対処していただきありがとうございます。いつまでも大切に使用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。

【共同利用施設】広崎1町内、福富、安永2町内、安永3町内の各公民館

【町の施設】総合体育館、交流情報センター



上妻所長から住永町長に目録が手渡されました。